

「第三者評価に参加して～事業者からのコメント～」

家庭的保育事業 大淵 元子

当園は、平成18年に開業後、平成27年に北九州市の認可を受け、家庭的保育事業として今年度で9年目を迎えました。

家庭的保育事業では、生後57日目から保育の提供を行い、家庭的な温かみを活かした保育ができるという利点がありますが同時に、大規模保育園との設備面での違いもある中で、第三者評価を受けるにあたり不安がありました。保育環境面の充実、保育記録の見直し、地域との連携について等、評価基準に日々の保育を照らし合わせながら話し合いを重ねました。その中で、職員間で意識と理解を共有し、再認識できたことは、私共にとりましてとても良い経験となりました。

保育所保育指針を基本として、全体的な計画を含めた様々な計画に沿った保育を行ってきましたが、今回改めて開業時からの当園の取り組み・保育に対して第三者評価委員の方から大変良い評価を頂き、保育に対する自信に繋がりました。

これらの経験を今後の保育に活かして参りたいと思います。

今後も保育サービスの質の向上を図りながら、子ども一人一人にとって安心して過ごすことができる家庭的保育事業を目指して、より一層の研鑽を積みながら日々邁進していきたいと思っております。ありがとうございました。